

文化財主事

教育局
生涯学習部
文化財課

須貝 慎吾

山形県米沢市出身
平成30年度採用

文化財の保存、保護、活用を目的に、史跡地の保存・整備・管理、埋蔵文化財包蔵地(遺跡)内での発掘調査、天然記念物の保護のほか、民俗芸能のつといや、発掘調査の成果を紹介する文化財展の開催、市内の小・中学校への出前授業、市民向けの出前講座、普及啓発活動など、幅広い業務に携わります。主に文化財課に所属し、建築、民俗、考古学などさまざまな専門分野の職員と連携して業務を行っています。



“魅力ある歴史のまち”を目指して。

文化財は、寺社仏閣といった建築物から、踊り・祭りの民俗伝承や動植物の天然記念物、地下に埋まっている遺跡(埋蔵文化財)など、幅広く存在しています。その中でも業務で多く扱う埋蔵文化財にしぼると、仙台市は、仙台城跡のような大規模な史跡から古代の集落跡など多種多様な遺跡が市内全域に分布しています。須貝さんは、主にこのような遺跡で発掘調査を行っていま

は、開発工事が行われる際に、事前の発掘調査を担当している須貝さんですが、これまでの業務の中で特に印象的だったのは整備に伴う仙台城跡の発掘調査だったといいます。「調査を行った際、江戸時代の絵図に描かれていた石垣などが発見できたときは驚きました」。石垣は年代によって積み方が異なるため、地層と出土した遺物をあわせて年代を考えると、どの時代に築かれたものなのかを明らかにすることが可能なんだそう。須貝さんは、こうした発掘調査や文献調査で仙台城の歴史の一端を紐解き、その成果を報告会や出前講座などで市民に伝えてきました。



す。調査を行う理由には、整備に伴う学術調査と、遺跡内で行われるさまざまな開発工事に伴う調査の2つが挙げられ、その調査の実施や監督を行うのが文化財主事の仕事の一つです。現在

「訪れた人に仙台の歴史を感じてもらえるような遺跡の整備事業の中で、調査員として携わることがやりがい」と語る須貝さん。一方、遺跡は先史時代から近現代まで幅広い時代にわたっているため、専門ではない時代は一から勉強する必要があることに難しさを感じるといいます。「歴史や遺跡巡りが好きで文化財主事になったので、今後は“魅力ある歴史のまち”として市内の遺跡の史跡整備に携わりたいですね。そのためにも幅広い時代をカバーできる知識や経験を積み重ねていきたいと思います」。

Private

ロードバイクが好きで、休日は泉ヶ岳に走りに行ったり、県外へロングライドに出かけたりすることもあります。自然の気候を肌で感じるのが楽しいです。熊本城復興のため職員派遣されたときは、阿蘇山まで行きました。

One day Schedule

- 8:30 出勤
係内の朝礼
- 9:00 メール等のチェック、
発掘調査の機材確認
- 10:00 発掘調査
- 12:00 昼休憩(周辺でランチ)
- 13:00 発掘調査
- 16:00 発掘調査現場から帰庁
- 17:15 係長へ調査状況等の報告、
図面整理と日誌記載など
退勤